

2019年度講義内容一覧表(土木)

講義日	講義会場	時間	講義時間	講義順コード	カリキュラムコード	講義概要	初級/中級レベル区分	講義区分※	講師(所属)
6/13 (木)	BMT	13:00 ～ 14:30	1:30	1	D1	鋼材の基本特性、橋梁用高性能鋼の紹介など 鋼材性能 高性能鋼 橋梁用高降伏点鋼板-SBHS	初級	1	高木 優任 日本製鉄(株) 建材事業部 建材開発技術部 橋梁開発技術室 室長
		14:45 ～ 16:15	1:30	2	D2	鋼製基礎・鋼管杭	初級	1	辰見 ター (一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会 技術総括委員 JFEスチール(株)建材センター-建材開発部
		16:30 ～ 18:30	2:00	3	D13	品質管理 ・世界工業技術の三大失敗 ・近年の国内外での品質トラブル・事故事例に学ぶ ・リスク管理-思考停止、マニュアル病、失敗は伝わらない- ・想定外を克服して「製品品質」から「技術品質」へ	初級	1	佐藤 浩明 (一財)橋梁調査会 関東支部 橋梁課長
6/20 (木)	BMT	13:00 ～ 14:30	1:30	4	D4	設計基準 設計基準類の体系、道示改定における構造合理化(改定ポイントなど)、 今後の設計法の展望	中級	2	野上 邦栄 首都大学東京 客員教授
		14:45 ～ 16:15	1:30	5	D5	座屈設計と鋼構造 限界状態設計法、部分係数設計法、座屈設計など	中級	2	松村 政秀 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授
		16:30 ～ 18:00	1:30	6	D6	疲労設計 繰返し荷重を受ける鋼構造物の疲労き裂損傷事例、 溶接継手の疲労の基礎、疲労耐久性の計算、 疲労耐久性の向上、補修・補強、など	初級	1	山田 健太郎 名古屋大学 名誉教授 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) テクニカルアドバイザー
6/27 (木)	BMT	13:00 ～ 14:30	1:30	7	D3	橋梁計画 橋梁計画で検討を必要とする事項、設計計算書に記載を必要とする事項 橋梁計画の手順(橋長・支間割・橋梁形式・構造の決定要領)、 発注者・設計者・施工者の役割	初級	1	鈴木 泰之 (株)建設技術研究所 東京本社 フェロー
		14:45 ～ 16:15	1:30	8	D10	複合構造 概説 基本原理 合成柱 合成床版 複合橋梁と設計、合成桁の設計 海外基準 AASHTO LRFD,ECTと道示の違い AASHTO LRFD設計計算例 AASHTO LRFR(維持管理設計法)	中級	3	奥井 義昭 埼玉大学 教授
		16:30 ～ 18:00	1:30	9	D17	次世代の構造物と構造技術者 プロジェクトマネジメント コンストラクションマネジメント	初級	1	大津 宏康 京都大学 教授
7/4 (木)	BMT	13:00 ～ 14:30	1:30	10	D14	鋼構造の維持管理 鋼橋の損傷・劣化、点検・健全度診断 維持補修・補強、インフラマネジメント	初級 ～ 中級	1	高木 千太郎 (一財)首都高速道路技術センター 上席研究員
		14:45 ～ 16:15	1:30	11	D15	社会インフラとモニタリング ・モニタリング技術の現状と課題 ・衛星測位(GNSS)技術 ・レーザスキャニング技術 ・モバイルマッピングシステム	中級	2	佐田 達典 日本大学 教授
		16:30 ～ 18:00	1:30	12	D16	鋼橋架設技術 各種架設工法とその選定、架設計画時の工法別留意点 架設時の不具合事例・事故事例と事故防止対策	中級	2	大下 嘉道 (一社)日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 委員長 三井造船鉄構エンジニアリング(株) 建設本部 西部工事事部 主管
7/11 (木)	BMT	13:00 ～ 14:30	1:30	13	D11	製作全般 原寸 書書 切断方法 加工 組立、 溶接施工管理 仮組立 輸送 設計・製作の自動化・省力化 品質管理	初級	1	村上 貴紀 宮地エンジニアリング(株) 千葉工場 技術研究所 所長 生産技術グループ グループリーダー
		14:45 ～ 16:15	1:30	14	D8	構造物の設計のための振動の基礎知識 耐震設計や耐風設計において動的な照査を行う際に必要な 固有振動特性や外力の周波数特性の見方や多自由度系を 1自由度系に換算するモード解析について解説	初級	1	矢部 正明 (一財)首都高速道路技術センター 上席研究員
		16:30 ～ 18:00	1:30	15	D9	耐震設計・免震設計・制震設計 耐震と免震および制震設計における留意事項	中級	2	
7/18 (木)	BMT	13:00 ～ 14:30	1:30	16	D7	・鋼橋の耐震・制震設計に関するQ&A —大震災から如何に学んできたか ・現行の耐震・制震設計の高度化に対する課題	中級	2	宇佐美 勉 名古屋大学 名誉教授 名城大学総合研究所 研究員 (公財)名古屋産業科学研究所 上席研究員
		14:45 ～ 16:15	1:30	17	D12	高力ボルト接合	初級	1	山口 隆司 大阪市立大学 教授
		16:30 ～ 18:00	1:30	18	D18	耐火設計 鋼橋の火災事例 鋼の高温時および加熱冷却後の常温時強度 火災時における桁の受熱温度推定、耐火力照査法 火災後の頭付きスタッドの力学特性	初級	1	大山 理 大阪工業大学 教授
7/25 (木)	BMT	13:00 ～ 14:30	1:30	19	D20	特別講義1 電力鋼構造物の設計と維持管理 ・電力構造物(水門扉、水圧鉄管、送電鉄塔など)の概要 ・設計・維持管理の基本と構造解析技術等の活用 ・性能照査型設計体系への移行見通し ・大規模自然災害への対応	中級	3	山本 広祐 (一財)電力中央研究所 地球工学研究所長
		14:45 ～ 16:15	1:30	20	D21	特別講義2 浮体構造の現状と将来 ・海洋・海底の環境、自然災害、エネルギー、資源探索の展望 ・浮体構造物(浮体橋など)の展望 ・将来のエネルギーの確保に関する展望 ・浮体構造の制御の展望 ・海洋構造物の防食と耐久性 ・風力発電の国際的展望	中級	3	渡邊 英一 京都大学 名誉教授 (一財)大阪地域計画研究所 名誉理事長

※講義区分

- 1: 新人研修用プログラム
- 2: 中堅技術者への技術の伝承を主眼とするプログラム
- 3: 海外志向、展開を促すプログラム